

高齢者教育

千里大学については、高齢化社会の中で、豊かで充実した生涯生活を過ごしていただくための一助として、学習や交流の場を提供するなど、引き続き取り組んでまいります。

アスリート派遣補助金

スポーツ振興の助成事業として、町民が全道・全国・国際大会等に出場する経費へ補助する「アスリート派遣補助金」を制度化しておりますが、本年度も必要な所要の予算を計上いたしました。

民間企業との協力

民間ならではの発想で、保護者、または企業・団体などの様々なニーズに応える保育サービスを全国展開で提供しております。大阪市に本社を置く株式会社タスク・フォースが、その新たな取り組みとして、ただ、預かるだけの保育ではなく、真に強く優しく、正しい人を育てる教育理念を掲げ、様々な体験イベントに取り組みながら、大自然の中

います。

広域連携の推進

広域連携の推進では、圏域を取り巻く情勢は依然として厳しい状況にあります。平成21年4月1日にスタートした富良野広域連合による事務事業や医療体制の確保、観光など広域事務について、引き続き圏域市町村などと連携を図りながら効率的・効果的な行政の推進に努めてまいります。

以上、平成25年度の町政執行に臨む基本的な考え方や第5次総合計画を推進する主要事業について申し上げます。次に、平成25年度予算編成の考え方並びに概要を申し上げます。

方針として「雇用対策、定住促進、少子高齢化対策、農林業の経営基盤強化など政策課題への的確な対応及び行政改革への徹底した取り組み並びに基金に依存しない財政運営に向けた歳出削減」を掲げ、健全財政の維持を図りつつ、衆議院の解散による政権交代に伴い、今後の政策や制度変更等が、本町財政にどの

共に創造するまちづくり

次に、住民協働・行財政分野で、「共に創造するまちづくり」であります。

住民参画と協働

住民と行政の連携については、地域主権の推進や過疎化による人口減少の進行に加え、文化・生活環境が大きく変化する中で、町民皆さまが、まちづくりの主役であることはいつの時代にあっても変わり

ような影響を及ぼすのか注視ながら、まちづくりの着実な進展を図るための施策の推進と住民の生活福祉の更なる向上の実現を図るべく、予算編成に努めたところであります。その結果、予算規模は、

- ◆一般会計 36億8,038万7千円
- ◆国民健康保険事業特別会計 3億9,450万3千円
- ◆後期高齢者医療特別会計 3,753万5千円
- ◆介護保険特別会計 2億7,380万2千円
- ◆簡易水道事業特別会計 1億5,861万5千円
- ◆公共下水道事業特別会計 1億1,280万8千円

■総額 46億5,765万0千円

となり、町長選挙のため骨格予算となりました前年度当初予算と比較しますと総額で5.7%の増となった次第であります。

議員各位をはじめ町民皆さまのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。町政執行方針といたします。



移動町長室の様子（北落合地区）

ませんが、行政への住民要望が多様多岐化している現在において、これらの声を全て行政の力のみで対応し続けることは、財政規模更には組織力においてもきわめて困難な時代を迎えております。地域の声を広くまちづくりに反映させるため、これからは住民皆さまの積極的な参画をいただき、住民と行政のパートナーシップによる「自助・共助・公助」の補完体制を確立し、協働のまちづくりを推進してまいります。

平成23年4月1日に施行されました南富良野町自治会活

健全財政の維持

これまでの本町での行財政改革は、時代の趨勢とともに町民ニーズや行政課題に的確に対応できるよう、行政全般のあり方を点検し、行財政運営や制度の見直しを行い、常に新しい行政システムを構築し、取り組んでまいりました。しかし、今後も増加が予想される社会保障費や産業振興に必要な予算、更に公共施設も多くは、昭和50年代に整備されており、建物の老朽化は着実に進行しております。今後、改修などの膨大な事業費が必要となることは厳然たる

行政情報化の推進

事実であり、今後の財政需要を考えますと、限られた財源の中で、より一層の効率的かつ効果的な予算の配分と執行が求められる状況にありますことから、今後も継続的な行政改革を進め、財政シミュレーションに基づく中長期的な財政目標の達成に向けて、取り組んでいくことといたします。

行政情報の推進につきましては、国が進める電子自治体の取り組みとして整備しました、住民基本台帳ネットワークシステム機器及び総合行政情報システム機器の更新のための所要の予算を計上いたしました。

まちづくり応援寄附金

本町のまちづくりに賛同する方々から受けた「南富良野町まちづくり応援寄附金」の活用については、寄付金の一部を本年度予算に計上し、生物多様性環境保護教育対策備品、公民館図書室備品の購入費及びスキー場活性化イベントに対する負担金に充ててま

教育行政執行方針



教育行政執行方針を述べる 上林教育長

3つの基本方針

- ◆安心・安全な学校づくり
- ◆確かな学力の向上
- ◆健やかな心身の発達・育成

平成25年第1回南富良野町

議会定例会の開会にあたり、教育行政の方針を申し上げます。町議会並びに町民皆さまのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

少子高齢化が叫ばれるようになって久しく経ち、世界的なデフレ傾向による経済破たん状態が続いている中、国内では雇用不安や不安定な就業状況が続いています。

先の総選挙で政権交代がなされ、新しい内閣では震災復興、憲法改正、更に経済再生、そして教育改革が大きな政策の柱となっています。これらを踏まえた時に、日本の未来を担う子ども達には、基礎的な学習、基本的な知識そして健全な発育を促す体力を身に付けさせることが重要になっていきます。

町民一人ひとりが、生涯にわたる心身ともに健康で生きがいのある充実した人生を送ることができる条件や環境づくりをしていかなければなり

学校教育

はじめに、学校教育についてであります。

郷土の明日を拓く子ども達に、現在の生活環境はあまりにも急激な変わりようでありたり変化のスピードが速すぎたりしています。このような中で成長していく子ども達を地域社会や学校が確実にサポートしていかねばなりません。特に学校にあつてはその時その時の時代に合う教育方針を掲げ具体的な課題を示しながら子ども達を成長させなければなりません。

そのため町内各々学校では、平成25年度の重点目標として小中高の連携授業を平成24年